

ジェイアール東海バス

26年・春闘要求趣旨説明を行う！

2026年春闘要求趣旨説明（要約）

2026.03.09

【ジェイアール東海バスの状況】

ジェイアール東海バスの2025年度第二四半期決算では、営業収益が27億2220万円（対前年比1億5096万円増）営業費用は25億3634万円（対前年比6718万円増）となり営業利益は1億8586万円（対前年比8377万円増）当期純利益1億8904万円となった。

大幅な黒字となり、大きな収支改善がみられる一方で乗務員不足、要員不足は改善を見ていない。

【賃金引上げの必要性】

バス事業の基礎である安全・安定運行を支えているのは、一人ひとりの乗務員や車両係、運行管理者の昼夜の別ない支えによるものであり、働く者からの大幅な賃金引き上げへの期待や要求は小さくない。また期末手当が生活給化していることは労使で認識が一致している。

会社は会社事業を根底から支えるもの要求に対して応える事でバス産業の労働市場を活性化させるリード役を果たすべきと考える。さらに着実かつ堅実な運行サービスの提供で公益事業ともいえるその使命を果たしつつ、その前提となる地上と車上の双方から運行を支える働く者への待遇さらなる向上は欠かせない。我々国労としては、この間、国の様々な規制緩和施策で脅かされてきているバス事業の安全・安定運行の確保と減便や路線廃止ではなく利用者の足の確保という大前提に確実に答える中から会社事業の展望を開くべきと考える。

よって【ベースアップ21,000円！】【夏季手当・基準内賃金3・3箇月！】の支給を強く求めるものである。

*ベースアップ・夏季手当要求！満額獲得に向け職場から奮闘し、交渉に全力を挙げてまいります。共に職場から奮闘しましょう！

国労東海かべ新聞

国鉄労働組合東海本部 編集責任者：教宣部長